

●個別学習 ■同時進行型

実践タイトル 漢詩の世界をマルチメディアで表現する

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC
電子黒板

・タブレットPC (iPad2) を使ってマルチメディア作品を制作し、電子黒板で発表、共有する。

その他
(テキスト、静止画、動画、音声)

・漢詩のイメージをテキスト、静止画、動画、音声などを組み合わせて表現し、漢詩や作者の心情の理解と創造性を高める。

参考にしてほしいポイント

- ・マルチメディアによる表現と発表を通して、国語科の「漢詩」と情報科の「メディアの統合」の単元を組み合わせた教科間連携授業である。タブレットPCを一人1台持つ環境を生かし、素材の準備、作品の制作、発表、共有まで行うことにより、異なる教科の連携で表現できる。
- ・国語科としてICTを活用した創造的な学習、情報科として生徒各自が準備した素材を生かした実践的な実習を行うことができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 5	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの復習 ・本時の目標を伝える(杜甫の「月夜」の情景を想像し、メディアを統合して作品を作る)。 ・作品を音読する。 ・タブレットPCの準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板
展開 5 35	<ul style="list-style-type: none"> ・杜甫がこの詩を読んだ時代背景、場所、当時の状況などをデジタル資料集で確認する。 ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 ・写真やテキスト、動画などを組み合わせて、一人ひとりがイメージする詩の情景を表現する作品を制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC(写真1・2) ・電子化した資料集(年表、地図) ・テキスト、動画、静止画、音声、効果音などを組み合わせる。(プレゼンテーションソフトウェア)
まとめ 35 50	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを電子黒板(デジタルテレビ)に接続して発表し、なぜこの画像を選んだのか、工夫した点などを説明する。 ・作品をサーバにアップロードして共有する。 ・情景を想像し、表現することが、作品を理解するために重要であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板(写真3) ・タブレットPC



写真1: 作品の時代背景を年表や地図で確認し、イメージを明確にする



写真2: 写真やテキストを組み合わせ、漢詩の世界を表現する



写真3: タブレットPCを電子黒板に接続して発表する

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・同じ漢詩をテーマにしても、各々が考えるイメージが異なり、それが作品に表現されていておもしろかった。
- ・タブレットPCを使うことで、普通教室でも短時間でマルチメディア作品を作ることができた。オリジナル作品は難しそうだが、やってみたい。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・国語: 読む能力、書く能力 ・情報: さまざまなメディアによる表現 	具体的変容	<ul style="list-style-type: none"> ・文字メディアである漢詩を視覚的に表現することにより、生徒個々が詩のイメージを実感し、作品理解と表現力を深めることができた。
-------	---	-------	--

実践の手応え

- ・さまざまなメディアを統合することで、情報科としてのメディア表現だけでなく、国語科として漢詩作品への理解も深めることができた。次回は、オリジナルの漢詩、俳句を用いて作品を作り、より創造性を高めたいと考えている。